



新機能および変更された機能に関する情報

- [Cisco DNA Assurance リリース 2.1.2 の最新情報 \(1 ページ\)](#)

Cisco DNA Assurance リリース 2.1.2 の最新情報

『Cisco DNA Assurance User Guide, Release 2.1.2』に記載された新機能と機能変更の概要を次の表に示します。

表 1: 新機能および変更された機能 **Cisco DNA Assurance**

機能	説明
簡素化されたナビゲーション	アシュアランス機能への移動が簡素化されました。Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックしてアシュアランスを選択してから、適切な機能を選択します。
SNMPv3 サポート アシュアランス	アシュアランス機能で SNMPv3 をフルサポートすることにより、ネットワーク運用を保護できます。
クライアント、ネットワーク、およびアプリケーションダッシュボードのタイムラインを30日間に延長	タイムラインの右側にある矢印ボタンを使用して、最大30日間のデータを表示できます。 すべてのクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング 、 ネットワークの健全性のモニターとトラブルシューティング 、および すべてのアプリケーションの健全性のモニター を参照してください。
[Network Devices Reachability] ダッシュレット	[Network Device Reachability] ダッシュレットで、デバイスの到達可能性ステータスに関する情報を表示できます。 ネットワークの健全性のモニターとトラブルシューティング を参照してください。
ICMP を使用した可用性の監視	ICMP を使用して、デバイスの ping 到達可能性ステータスを表示できます。 インベントリに関する情報の表示 を参照してください。
デバイス RMA のデバイス交換イベントのマークおよびマーク解除	デバイス RMA で交換対象としてマークされているデバイスとマークされていないデバイスで、新しいイベントがサポートされます。

機能	説明
インターフェイスでの破棄	<p>ルータおよびスイッチインターフェイスでの入出力の破棄が多いと、問題が発生します。</p> <p>ルータの問題 および コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題 を参照してください。</p> <p>リンク破棄パラメータがルータおよびスイッチの正常性スコア計算に追加されます。</p> <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング、ルータヘルススコア、および スイッチヘルススコア を参照してください。</p>
アプリケーション健全性	<ul style="list-style-type: none"> • 最適化アプリケーションパフォーマンスモニターリング (APM) がルータ、Cisco 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ、および Cisco DNA Traffic Telemetry アプライアンスに追加されます。 <p>サポートされるプラットフォーム を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新しい自動選択アルゴリズム：Cisco DNA Center は、新しい自動インターフェイス選択アルゴリズムまたは WLAN 選択アルゴリズムに基づいてインターフェイスと WLAN を選択し、該当するすべてのインターフェイスと WLAN でアプリケーションテレメトリを自動的に有効にします。 <p>デバイスでのアプリケーションテレメトリ有効化の基準 を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Application 360] ウィンドウでは、次の機能が強化されています。 <ul style="list-style-type: none"> • [Quality] 情報領域 (タイムラインの下) には、遅延、ジッター、およびパケット損失に関する情報が表示されます。遅延については、クライアントとアプリケーションの間における LAN、WAN およびアプリケーションの遅延に関する情報が表示されます。 • [Application Experience] タブは [Exporters] タブと呼ばれるようになりました。 • [Application Endpoint] テーブルには、各クライアントの詳細が表示されます。これには、識別子 (ユーザー ID、ホスト名、IP アドレス、MAC アドレスのうち、この順序で使用可能なもの)、クライアント、クライアントの正常性、アプリケーションの正常性、使用状況、デバイスタイプ、MAC アドレス、VLAN ID などの情報が含まれます。 <p>アプリケーションの健全性のモニター を参照してください</p>

機能	説明
新しいレポート	<p>次の新しいレポートがサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワイヤレスの電力とチャネル。 • POE ポートの可用性および電力バジェットレポート。 • クライアントの使用状況（使用率の高い順）。 • ネットワークデバイスの可用性。 • ネットワークの脅威に関する不正および aWIPS レポート。 <p>[Reports] ウィンドウに拡張機能が追加されました。次のレポートが導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AP および AP 無線は、[Access Points Report] テンプレートの下にグループ化されます。 • [Client Summary]、[Top N Summary]、[Client Detail]、[Client Trend]、および [Client Session] テンプレートは、[Client Report] テンプレートの下にグループ化されます。 <p>レポートを参照してください。</p>
ハイ アベイラビリティ	<p>高可用性（HA）のサポートが アシユアランス に追加されました。</p> <p>HA の詳細については、『Cisco DNA Center High Availability Guide』を参照してください。</p>
ディザスタ リカバリ	<p>ディザスタリカバリは、ネットワークのダウンタイムに対する保護策として追加の冗長性レイヤを提供する Cisco DNA Center の HA に基づいて構築されます。</p> <p>ディザスタリカバリの詳細については、『Cisco DNA Center Administrator Guide』を参照してください。</p>
監査ログ	<p>監査ログは、発生したシステムイベント、発生した場所、開始したユーザーを記録します。監査ログを使用すると、監査用の別のログファイルにシステムの設定変更が記録されます。</p> <p>アシユアランス監査ログの表示を参照してください。</p>
ロールベースアクセスコントロール	<p>アシユアランスは、ロールベースアクセスコントロール（RBAC）をサポートしています。これにより、スーパー管理者ロールの権限を持つユーザーは、特定のアシユアランス機能へのユーザーアクセスを許可または制限するカスタムロールを定義できます。</p> <p>ロールベースアクセスコントロールのサポート アシユアランスを参照してください。</p>
ローカライズされたアシユアランス GUI 画面	<p>アシユアランスの GUI 画面は、英語（デフォルト）、中国語、日本語または韓国語で表示できます。</p>

機能	説明
センサー	<ul style="list-style-type: none"> • [Sensor] ダッシュボードに移動するには、アシュアランス > [Dashboards] > [Wireless Sensors] を選択します。 • センサーを管理するには、アシュアランス > [Manage] > [Sensors] を選択します。 • ネットワークのパフォーマンスを確認するためのセンサーテストカテゴリに iPerf3 速度テスト のサポートが追加されました。 テンプレートを使用したセンサー主導テストの作成と実行を参照してください。 • センサーに SCEP プロファイル のサポートが追加されました。センサーにプロファイルを追加、管理、および登録できます。 ネットワーク内のセンサーの管理およびSCEP プロファイルの管理を参照してください。 • センサーテストの外部 Web 認証に ClearPass サーバー のサポートが追加されました。 テンプレートを使用したセンサー主導テストの作成と実行を参照してください。 • [Create Sensor Backhaul SSID Assignment] ウィンドウで、有線バックホール設定と無線バックホール設定の両方に SSID を設定できます。 バックホールの設定の管理 を参照してください • 802.1x EAP のサポートが追加されました。 バックホールの設定の管理 を参照してください

機能	説明
Cisco AI ネットワーク分析 の強化	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco AI ネットワーク分析 機能が、Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラでサポートされるようになりました。 「Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ でサポートされている Cisco AI Network Analytics の機能」を参照してください。 • [Network Heatmap] ウィンドウでは、次の拡張機能が提供されます。サイトおよび建物で AP をフィルタ処理できます。ヒートマップ内の情報をソートできます。[Network Heatmap] ウィンドウに表示される情報に関するフィードバックを提供できます。 ネットワークヒートマップ内アクセスポイントの比較を参照してください。 • [Network Insights] ウィンドウから特定の AP の [Device 360] ページを開くことができます。 ネットワークトレンドの表示とインサイトの取得を参照してください。 • コラボレーションアプリケーションの無線スループットが低下すると、問題が発生します。 AI 駆動型の問題を参照してください。 • サイト間比較のユーザーインターフェイスが強化されました。 ネットワーク内のサイト間の比較を参照してください。
Cisco StackWise のサポート	<p>Cisco Catalyst 3650、3850、および 9300 シリーズ スイッチでサポートされる Cisco StackWise のサポートが追加されました。</p> <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング および Cisco StackWise と制限事項について を参照してください。</p>
Wi-Fi 6	<p>Wi-Fi 6 対応機能を使用すると、Wi-Fi 6 対応のクライアントの割合と、Wi-Fi 6 対応の AP インフラストラクチャの割合を確認できます。上記の情報に基づいて、Wi-Fi 6 ネットワークのメリットを最大限に活用するために実行できるアクションに関する推奨事項が提供されます。</p> <p>Wi-Fi 6 対応状況の監視を参照してください。</p>
Syslog、SNMP トラップ、および Netflow コレクタサーバーの設定	<p>Syslog、SNMP トラップ、および Netflow コレクタサーバーを 1 つのロケーションで設定できるようになりました。</p> <p>テレメトリを使用した Syslog、SNMP トラップ、NetFlow コレクタサーバーの設定を参照してください。</p>

機能	説明
インテリジェントキャプチャ	<ul style="list-style-type: none"> • インテリジェントキャプチャが Catalyst 9130 AP、Catalyst IW6300 Heavy Duty シリーズ AP、および Catalyst ESW6300 組み込みサービス AP でサポートされるようになりました。 インテリジェントキャプチャ対応デバイス で「サポート対象の Cisco AP」の表を参照してください。 • リアルタイム FFT 機能を使用すると、RF 環境をリアルタイムで表示できます。 RF 統計情報の表示とアクセスポイントのスペクトル解析データの管理を参照してください。 • [Spectrum Analysis] チャートで、特定のチャネル範囲のデータをズームインして表示できるようになりました。 RF 統計情報の表示とアクセスポイントのスペクトル解析データの管理を参照してください。
[Topology] ツールへのアクセス	<p>[Topology] ツールには、[Network] ダッシュボードの上部メニューバーからアクセスできます。[Topology] ツールは、ネットワークのマップビューと、ネットワーク内のコンポーネントの接続方法のトポロジビューを提供します。</p> <p>ネットワークの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>

機能	説明
Power over Ethernet (PoE) テレメトリと分析	<p>PoE テレメトリと分析を使用して、ネットワーク内の PoE 対応デバイスをモニターできます。</p> <p>PoE テレメトリと分析の設定方法の詳細情報については、Power over Ethernet (PoE) テレメトリ を参照してください。</p> <p>PoE テレメトリと分析に次の機能が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Health] > [Network] ダッシュボードに、[PoE Operational State Distribution]、[PoE Powered Device Distribution]、[Power Load Distribution]、[PoE Insights] の 4 つのダッシュレットが追加されました。 <p>ネットワークの健全性のモニターとトラブルシューティング を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特定の PoE 対応スイッチの PoE テレメトリと詳細を提供する [PoE] セクションが [Device 360] に追加されました。 <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の問題が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> • PoE ポートがエラー状態 • PoE 受電デバイスに障害フラグあり • PoE 受電デバイスへの電力供給拒否 <p>コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題 を参照してください。</p>
クライアント 360 でのプライベートネットワーク接続	<p>ユーザー定義ネットワークのサポートが、ワイヤレスクライアントの クライアント 360 に導入されています。</p> <p>クライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング を参照してください。</p>
再試行 KPI	<p>再試行 KPI が、接続性に関連して デバイス 360 および クライアント 360 で導入されました。</p> <p>クライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング を参照してください。</p> <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング を参照してください。</p>
KPI しきい値の同期	<p>正常性設定と問題設定の間で共通の KPI のしきい値をカスタマイズして同期します。</p> <p>「ネットワークデバイスの正常性スコアの設定」を参照してください。</p>

